



『すべての子どもが 自分らしく生きていくことができるまち』

校長 横田 和 長

皆様は、『子どもの権利』をご存知でしょうか？

実は、先月の広報すぎなみの特集に、子どもの権利について触れる記事がありました。今、杉並区では、「すべての子どもが、自分らしく生きていくことができるまち」を目指して、「(仮称)杉並区子どもの権利に関する条例」の制定に向けた検討をしているところです。



こんなコトありませんか?

少し言い出しにくいな...
素直な気持ちや言いたいことを大人に伝えられず、「我慢しているとき」ってないかな?

家族の予定を決めるとき
明日の休みは、家族でデパートに行くよ!
うん...
行きたくないな...

習い事をやめたいとき
バレエなんだけど...
よくがんばってるね! 続けていればきっといつか自分のためになるよ!

キモチを伝えてみよう!
自分の気持ちや考えていることを周りの大人に伝えてみよう! みんなにとって一番いい方法を大人と一緒に考えよう。

学校に行きたくないとき
学校に行きたくないな...
何してるの? 早く学校に行く準備しなさい!

服を買いに来たとき
ピンクの服がよく似合っているわ!
本当は違う色が好きなんだけどな...
ありがとう...

チェック!
自分の「どうしたい」と「大事にしよう」
キモチが伝わるとうれしい!
自分がどう思っているか、どうしたいかが、受け止められると安心するね。そのためにも気持ちを伝えてみよう!

大人の皆さんへ
子どもの声に「耳」と「心」を傾けて!
子どもの声に耳と心を傾け、言葉の真意をくみ取って生かすのは大人の役目です。それが難しいときは、理由を説明してあげてください。

子ども達は 社会の一員で (広報すぎなみ2月1日号より)

あり、自己を表現し、尊重される権利をもっています。自己を表現したり、差別や暴力から守られる権利、安全で健康な環境で生活する権利などもあります。

私たち大人は、子ども達がこれらの権利を享受することができるように支援していく責任があります。子ども達が安全で尊重される環境で成長し、自己を表現することができるように、大人としての役割を果たしていかなければなりません。

子ども達は未来の主人公です。彼らの権利を尊重し、支えることは私たち大人の大切な使命です。私たち大人が、子ども達の権利を尊重し、支えることで、子ども達は健やかに成長し、社会の一員として、自己を育むことができるようになるのだと思います。本校でも、子ども達が自己を表現し、尊重されることができる学校を、今後も目指していきます。

先日、高井戸児童館で、子育てネットワークの地域連絡会がありました。テーマは「どうでしたか?今子ども達にしてあげたいこと」でした。様々な意見がありましたが、皆さん、子ども達や保護者を大切に支えていきたいという意見が多かったです。家庭が、学校が、地域がと、それぞれの立場に責任を求めるばかりでなく、それぞれが連携し、意見を交わしながら、すべての大人が子ども達の成長を大切に支えていく、そんな街や地域をめざして、本校も皆様と連携していきたいと考えております。今後ともよろしく申し上げます。

文化祭：合唱・舞台発表会

令和6年2月17日

今年度の合唱祭も、富士見丘中学校生徒の大きな可能性を感じる素晴らしい行事になりました。

2月の定期考査が終わってから本格的な合唱練習が始まり、3年生にとっては受験が一段落したタイミングでしたし、卒業式の合唱練習も重なっていましたので練習期間の短さに焦りを感じた人も多かったことと思います。それでも、本番では「これぞ最高学年」という立派な歌声を会場いっぱいに響かせ、会場を魅了しました。卒業するまでの「今この瞬間」を大切にしたいという思いが伝わってきて、「合唱は人の心を動かす」ということを改めて学んだ気がします。また、その姿を見つめる下級生たちの強く熱い眼差しが強く印象に残っています。来年度の飛躍がとても楽しみです。コロナ時代を経て、やっと「行事を通して伝統を継承する」という姿が戻ってきたと感じています。

合唱祭後半では有志発表の部もありました。ダンス、歌唱、吹奏楽、劇などの出し物を堂々と発表する生徒たちから、普段の授業だけではわからない、秘めた可能性を垣間見ることができました。

本年度の合唱祭を実施するにあたり、多くの方々の御協力を賜りました。外部審査員の風間先生、松林様、PTAの皆様、審査や運営の御協力をいただきありがとうございました。PTAコーラスの皆様、本物の合唱を聴かせていただき、生徒への大きな刺激となりました。ありがとうございました。





昨年度の文化祭に負けず劣らず、エンターテインメント性の高い内容が多く、大いに楽しみました。



審査員長の風見先生から、最上級生の合唱が常にお手本であり下級生を育てるというお話を頂きました。



解体 キングダム 最終回

3月、予定どおりすべての校舎の解体が終わろうとしています。正門のあった場所の南側に、建築現場の方々の事務所が完成し、体育館の富士見ヶ丘通り側に『第1ゲート』ができました。道路から1m以上あった盛土も削られ、分別された廃材と土が運び出されていきます。



3月1日 プレハブの事務所



校庭の東側は高低差がなくなり、スロープになりました。



3月7日 小学校側の通りに面した防音シートが見える



3月8日 最後の雪化粧



3月15日 校舎はなくなり、小学校新校舎が端から端まで見えます。



中学生レスキュー隊・修了式 3月3日

今年度の杉並区中学生レスキュー隊の修了式は、修了式にふさわしかったと思います。それは、訓練をとおり確実に技能を身に付けたという隊員が、明らかに多く存在していたからです。

ウィズコロナの頃から継続してレスキュー隊に所属していた人の中で、3年生は3年間連続してレスキュー隊に所属した人もいます。複数回、同じ訓練を毎年繰り返し、今では消防士や消防団の方々の助けなく訓練に参加し、さらには新人に技能を教えることができる隊員もいます。活躍がないに超したことはありませんが、レスキュー隊で学んだ技能を維持していつまでもらいたいものです。



生徒会誌「たかね」69号

今年度の生徒会誌が完成しました。

紙で冊子を作成するか、それともデータで共有するか、広報委員会でも意見が出たそうです。データ化についての議論ですが、おいそれと決められないのも事実です。それは『69』という数字の存在です。富士見丘中学校の生徒会誌は、「学校創立当初」から作られていて、その数は紡いできた「数」なのです。

『たかね』のこと、『グリーンロード』のこと、おとなも、子どもも、みんなで一緒に真剣に考えて、いろいろな方々の意見を拾い集め、一所懸命、議論を重ねて、よりよい方法を見つけて、決めていきましょう。

4月の行事予定

日	曜日	行 事
1	月	始業式 8:25 昇降口にて クラス発表
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	春季休業日終
7	日	
8	月	始業式 入学式準備（正装）
9	火	入学式（正装）
10	水	給食始 生徒会オリエンテーション⑥
11	木	避難訓練
12	金	部活動仮入部（始）
13	土	土曜授業 SNS セーフティ教室 保護者会（全体・学年・学級）PM
14	日	
15	月	振替休業日

日	曜日	行 事
16	火	安全指導
17	水	
18	木	定期健康診断始 内科検診
19	金	部活動仮入部（終）
20	土	
21	日	
22	月	生徒朝礼 全国学力調査（3年）
23	火	
24	水	FSS（1年）
25	木	FSS（1年）
26	金	安全指導
27	土	
28	日	
29	月	昭和の日
30	火	離任式（正装）